

令和2年度 大牟田市の財政状況

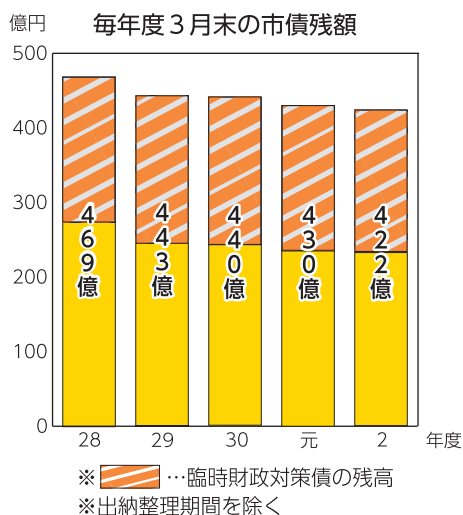
■問合せ 財政課 (☎ 41-2507)

令和2年度の市の財政状況を知ってもらうため、令和3年3月末日現在の予算の執行状況、財産、市債および一時借入金残高を公表します。

※2年度の収入済額および支出済額は5月までの出納整理期間を経て確定するため、今回の数値は、決算額とは異なります。確定した決算の内容は12月15日号の『広報おおむた』で公表する予定です。

●会計別 2 年度予算の執行状況

会 計 名	予算現在額	令和2年4月から令和3年3月まで		うち令和2年10月から令和3年3月まで	
		収入済額	支出済額	収入済額	支出済額
一 般 会 計	770億7,097万円	83.8% 645億 6,094万円	78.3% 603億3,097万円	35.9% 276億3,201万円	33.8% 260億5,829万円
うち市税	141億2,761万円	99.6% 140億6,871万円	—	43.7% 61億7,336万円	—
特 別 会 計	国民健康保険	90.5% 134億1,746万円	89.7% 133億 38万円	51.4% 76億2,460万円	54.1% 80億2,630万円
	介護保険	80.6% 114億 246万円	86.6% 122億5,551万円	38.8% 54億9,032万円	47.9% 67億7,851万円
	後期高齢者医療	91.4% 20億7,319万円	93.6% 19億4,049万円	61.7% 12億7,894万円	65.6% 13億6,004万円
	病院事業債管理	100.0% 9億8,089万円	100.0% 9億8,088万円	50.0% 4億9,044万円	50.0% 4億9,044万円



市民一人当たり (令和2年4月から令和3年3月)	市民一人当たり (令和2年10月から令和3年3月)
使った費用 …541,785円 負担した市税…126,340円 市債残高 …378,897円	使った費用 …234,009円 負担した市税… 55,438円 市債残高 …378,897円

一時借入金の状況	残高 0円 (令和3年3月末日現在)
市債の状況	残高 421億9,240万円 (令和3年3月末日現在)

市債残高は、過疎対策事業債の残高が増加している一方で、全体として新規借入の抑制を行っているため、減少しています。

●市有財産の状況

(令和3年3月末日現在 mは平方メートル、㎡は立方メートル)

土地	3,756,770.18㎡	職員退職手当積立基金	7億 5,126万円	まちづくり基金	7,541万円
建物	491,955.22㎡	国民健康保険高額療養資金貸付基金	200万円	動物園ゆめ基金	4,426万円
立木	3,395.30㎡	わくわくシティ基金	9,896万円	青少年健全育成基金	894万円
地上権及び地役権	1,758.32㎡	福祉振興基金	2億 8,859万円	九州新幹線渇水対策施設維持管理基金	12億 5,075万円
有価証券	3,000万円	人生トリアスロン金メダル基金	109万円	財政調整基金	24億 9,005万円
出資金及び出捐金	24億 7,535万円	庁舎等建設積立基金	20億 9,167万円	安心安全まちづくり基金	1,071万円
出資財産	13万円	ふるさと・水と土保全基金	1,146万円	市立学校施設整備基金	4,686万円
土地開発基金	4億 7,179万円	介護給付費準備基金	7億 2,522万円	おおむた100若者未来応援基金	9,673万円
廃棄物の埋立地取得及び処理工場建設積立基金	2億 2万円	近代化遺産保存活用基金	4,579万円	森林環境譲与税基金	999万円
著作権	1件	商標権	1件		

令和2年度 水道事業会計・公共下水道事業会計の業務状況

■問合せ 企業局総務課 (☎41-2840)

水道事業

●令和2年度 決算見込み

給水人口の減少、節水型家電製品の普及や節水意識の浸透等により、水需要は減少傾向にあります。経費削減を進めたことから、12年連続で黒字決算となる見込みです。

2年度に実施した主な工事

- ・昭和町地内外配水管布設その1工事
- ・千代町地内外配水管布設工事

業務量の決算見込み

給水戸数
54,459戸
年間総給水量
10,486,395m³
1日平均給水量
28,730m³

施設を整備するための収入

区 分	決算見込額
企業債	3億 1,367万円
補助金・負担金・出資金	2億 4,074万円
その他	2万円
合 計	5億 5,443万円

施設を整備するための支出

区 分	決算見込額
建設改良費	6億 7,732万円
企業債償還金	5億 7,277万円
国庫補助金返還金	400万円
合 計	12億 5,409万円

不足する6億9,966万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補う見込みです。

水道水を届けるための収入 下半期は、10月1日～3月31日の期間です

区 分	決算見込額	うち下半期の額
水道料金	23億 1,823万円	11億 6,482万円
長期前受金戻入	1億 5,664万円	7,443万円
その他	2億 1,845万円	2億 1,489万円
合 計	26億 9,332万円	14億 5,414万円

水道水を届けるための支出

区 分	決算見込額	うち下半期の額
維持管理費	11億 2,466万円	7億 3,222万円
減価償却費等	7億 3,445万円	3億 7,715万円
人件費	2億 9,781万円	1億 9,084万円
支払利息	1億 2,466万円	6,096万円
その他	280万円	70万円
合 計	22億 8,438万円	13億 6,187万円

2年度決算見込みの純利益は、収入と支出の差額4億894万円となる見込みです。

公共下水道事業

●令和2年度 決算見込み

多くの人が下水道を利用できるように整備を進め、普及率は向上しています。このため下水道使用料収入は増加し、11年連続で黒字決算となる見込みです。

2年度に実施した主な工事

- ・吉野汚水第二幹線築造工事
- ・三池汚水枝線管渠築造（第5工区）工事

業務量の決算見込み

水洗化戸数
30,967戸
年間総処理水量
9,013,450m³
1日平均処理水量
24,694m³

施設を整備するための収入

区 分	決算見込額
企業債	16億 6,071万円
補助金・負担金・出資金	16億 6,535万円
合 計	33億 2,606万円

施設を整備するための支出

区 分	決算見込額
建設改良費	31億 3,786万円
企業債償還金	14億 297万円
合 計	45億 4,083万円

不足する12億1,477万円は、減価償却等に伴い発生した資金を充当して収入を補う見込みです。

下水を処理するための収入 下半期は、10月1日～3月31日の期間です

区 分	決算見込額	うち下半期の額
負担金・補助金	16億 4,442万円	16億 4,442万円
下水道使用料	12億 8,826万円	6億 5,724万円
長期前受金戻入	9億 987万円	4億 5,245万円
その他	5,055万円	1,741万円
合 計	38億 9,310万円	27億 7,152万円

下水を処理するための支出

区 分	決算見込額	うち下半期の額
減価償却費等	17億 5,618万円	8億 7,574万円
維持管理費	8億 7,707万円	5億 3,044万円
支払利息	3億 2,562万円	1億 5,949万円
人件費	2億 9,367万円	2億 530万円
その他	3,998万円	3,987万円
合 計	32億 9,252万円	18億 1,084万円

2年度決算見込みの純利益は、収入と支出の差額6億58万円となる見込みです。